

経営企画課の目標（平成20年度）自己評価書

経営企画課長 仲田義秀

達成度

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 町が取り組む政策課題の推進(企画総合調整班)</p> <p>第4次酒々井町総合計画で掲げた目標の実現を図るため、基本計画において予め設定した戦略的・重点的に取り組む成果指標の達成状況について評価を行い、施策・事業の有効性をより一層高め、住民本位の行政経営を目指します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画において予め設定した主要事業 72 項目における成果指標について評価しました。 ・その結果、目標値に対する進捗状況、今後の課題、改善策を踏まえた方向性を抽出することができました。
<p>2 特定事項の推進(企画総合調整班)</p> <p>東関東自動車道酒々井 IC 設置促進期成同盟(6市町で構成:会長酒々井町長)及び印旛沼の総合的な治水対策を目指す印旛沼関連事業市町村連絡会議(6市町村で構成:会長酒々井町長)の目的達成のため、構成市町村との連携を一層深めていきます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・東関東自動車道酒々井 IC 設置期成同盟及び印旛沼関連事業市町村連絡会議の各事務局として、主体的に構成市町村と連携を図ってきました。 ・その結果、目的達成のための諸活動を積極的に展開することができました。
<p>3 地域づくりの推進(企画総合調整班)</p> <p>地域社会を住民とともに創っていくためには、地域の持つ行政課題をみんなで共有し、共に課題解決のために何を行うべきかを認識し行動していくことが必要なことから、地域担当員を活用し、自治会との連携を一層推進します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域担当員と連携して、「座布団集会」を、「トケ崎」を皮切りに6地区などで行い、住民とまちづくりの課題を共有するとともに解決の方向性を模索しました。 ・地域担当員によるまちづくりに関する相談や要望を各所管課へ橋渡ししていますが、地区によっては地域担当員制度に対する理解にバラツキが見受けられました。今後は、一層の周知に努めていくことが重要と考えます。
<p>4 広報活動の充実(広報広聴班)</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ニューすい」で、政策課題などの行政情報を積

<p>町が住民に伝達したい適切な情報を確実にかつタイムリーに提供していくため、広報ニューすいの内容充実を目指します。同時に、地域資源の活用を図り住民とともにまちづくりを進める行政経営の視点から、広報ニューすいに有料広告を掲載し、自主財源の確保に努めます。</p>		<p>極的に提供することにより、町民との情報の共有に大きく寄与できたものと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告収入額については、目標額を42万円に設定し、機会あるごとに広告主を探す努力を重ねてきましたが、各部署との競合や不況の影響も重なり、37万円となりました。
<p>5 広聴活動の充実(広報広聴班)</p> <p>町に対する住民の意見や要望を的確に把握するため、各種広聴活動の周知に努めます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・行政相談員を確実に配置するなどして相談事業を円滑に実施するとともに、法律相談や心配ごと相談など各種相談事業を広報ニューすいや町ホームページに掲載し町民への周知を図りました。 ・また、町民相談室とも連携して、町長への手紙などを通じて町民の町政への参加機会の拡大が図られてきたものと考えます。
<p>6 各種統計調査の実施</p> <p>国・県の各種統計調査を円滑に実施していくため、調査員の確実な確保を目指します。同時に、審査事務を的確に行い正確な統計となるよう努めるとともに、統計情報を引き続きホームページなどで公表していきます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法の施行などによりプライバシー意識が高まり、統計調査をめぐる環境は、調査員の確保はもとより、調査事態が年毎に厳しい状況となっていますが、理解をいただき調査員を確実に確保して、各種の統計調査を円滑に実施することができました。 ・統計情報は、ホームページなどで随時公表しています。
<p>7 チャレンジ目標</p> <p>平成20年度の町長施政方針で掲げられた行政経営の考え方を具現化していくためには、住民の目線に立った行政サービスを考えていくことが第一と考えます。そのためには職員の改善(カイゼン)意識改革を図ることが重要なことから、職員提案制度の活性化を図ります。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度の活性化を目標としてきましたが、一般提案はありませんでした。しかし、「町制施行120周年記念イベント」にかかる提案については3件(3人)ありました。 ・提出しやすくするためには、今後、テーマを絞って募集することが重要と考えています。